

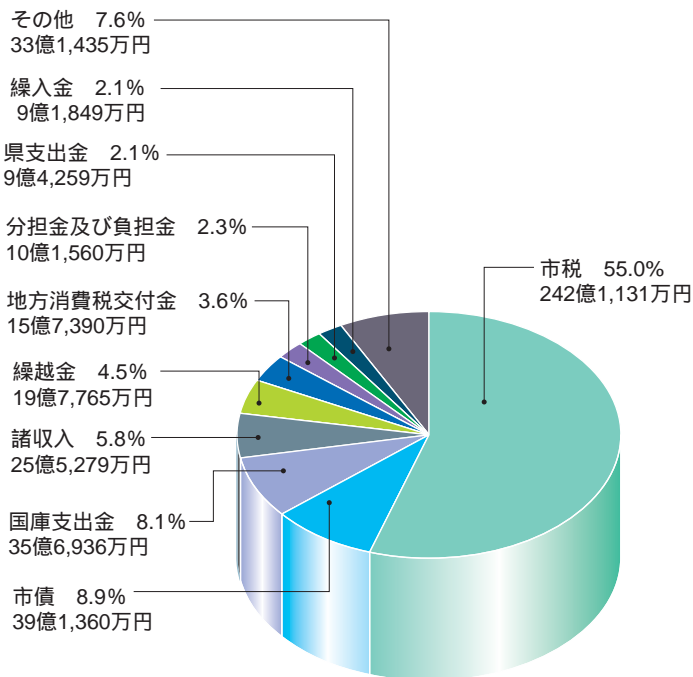
# 平成16年度決算のあらまし

## 市民一人当たり43万円を支出

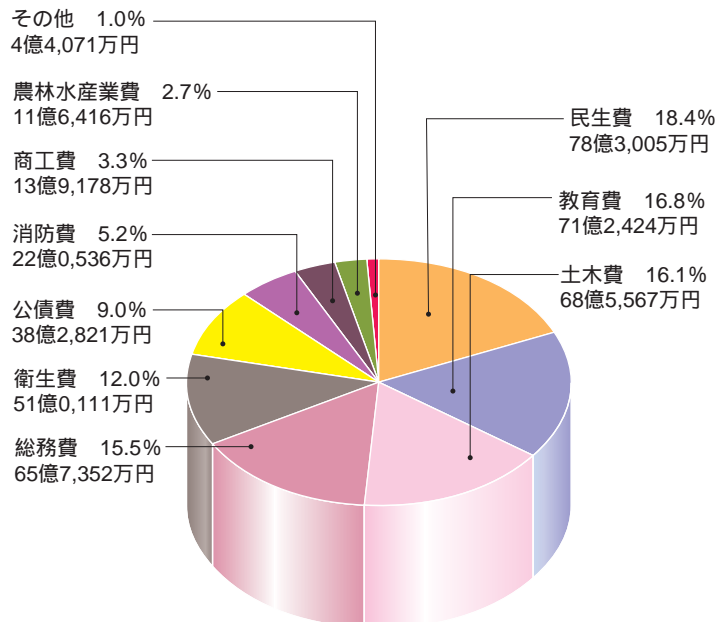
成田市の家計簿ともいえる平成16年度の各会計の決算がまとまりました。「住みよいまちづくり」を推進するため、さまざまな事業が行われました。各会計の決算の概要は次のとおりです。

### 一般会計決算

歳入 439億8,964万円



歳出 425億1,481万円



### 一般会計の実質収支額は11億0,450万円

平成16年度の一般会計歳入歳出決算は、歳入が439億8,964万円、歳出では425億1,481万円(市民一人当たり430,713円)で、差し引きは14億7,483万円でした。この中には、平成17年度に繰り越すべき財源として3億7,033万円が含まれていますので、平成16年度の実質収支額は11億0,450万円でした。

### 市税の内訳

税目	決算額
固定資産税	155億7,461万円
市民税	72億7,280万円
市たばこ税	10億4,313万円
都市計画税	1億9,289万円
特別土地保有税	2,624万円
その他	1億0,164万円
合計	242億1,131万円

### 市有財産の状況

区分	平成16年度末現在
土地	319万1,041㎡
建物	30万2,606㎡
車両	228台
基金	159億2,732万円

### 特別会計決算

会計名	歳入(収入)	歳出(支出)
国民健康保険	62億9,938万円	61億9,774万円
老人保健	47億7,221万円	46億9,334万円
下水道事業	24億6,966万円	24億1,295万円
介護保険	26億5,132万円	25億6,552万円
公設地方卸売市場	4億2,017万円	4億0,272万円
合計	166億1,274万円	162億7,227万円

# このような事業に使われました

【各決算額】 ÷ 【平成17年3月末人口・98,708人】



農林水産業費 11,794円  
水田農業対策事業 安定した  
水田農業経営の確立を支援

民生費 79,325円



子育て支援事業 - 親子でにぎわう  
「なかよしひろば」

商工費 14,100円



観光活性化事業 太鼓まつりな  
などの活性化イベントを支援

その他 4,465円

教育費 72,175円

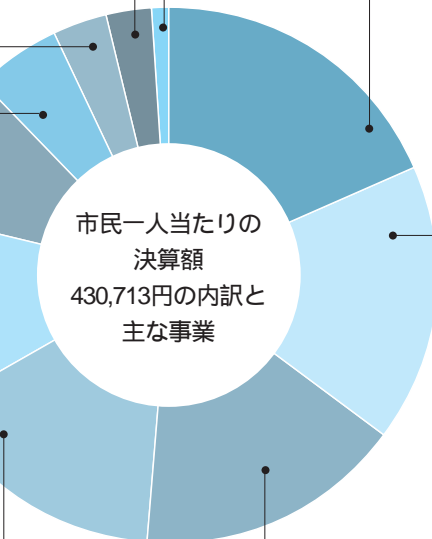


北羽鳥多目的広場整備事業 イン  
ターハイではソフトボール会場に

消防費 22,342円



消防車両整備事業 はしご付消防ボ  
ンプ自動車の配備で消防力が充実



総務費 66,596円

土木費 69,454円



三里塚複合施設整備事業 ことし  
7月「三里塚コミュニティセンター」  
としてオープン



郷部線整備事業 平成18年春の開通を  
目指し工事が進む

公債費 38,783円

衛生費 51,679円



健康診査事業 住民検診で  
市民の健康チェック

## 水道事業会計決算

区分	収入	支出
収益的収支	18億8,113万円	16億0,035万円
資本的収支	1億1,425万円	6億4,415万円

収益的収支は、水道料金を主な収入として事業を行い、平成16年度は2億6,353万円の純利益を得ました(純利益は、消費税を除いた額で計算しますので上表の決算額の差し引きとは一致しません)

また、資本的収支は、配水管の敷設や改良事業での収支を示すもので、一般会計における長期借入金に当たる企業債を主な収入として事業を行い、差し引き5億2,990万円の不足額は、内部留保資金などを充てました。

今後も老朽管の敷設替えなど多額の資金需要が見込まれますが、効率的な財政運営に努めるとともに、安全な水を安定してお届けします。

水道事業会計決算についてくわしくは市水道部業務課(☎22-0269)へ。

## 市債の状況

区分		平成16年度末現在高
一般会計	土木債	125億9,635万円
	教育債	58億5,267万円
	総務債	39億7,755万円
	衛生債	38億7,231万円
	民生債	19億6,644万円
	消防債	9億1,018万円
	商工債	2,040万円
	その他	48億2,006万円
計		340億1,596万円
特別会計	下水道事業債	103億1,407万円
	市場事業債	1億1,516万円
	計	104億2,923万円
業水 会道 計事	企業債	91億6,664万円

平成16年度決算についてくわしくは財政課(☎20-1512)へ。

# 健全な財政運営を維持

## 全国平均を上回る 財政状況

市の財政状況を表す主な指標に  
経常収支比率、公債費負担比率、  
財政力指数があります。  
財政構造の弾力性を示す指標で  
ある経常収支比率は、80%を下回  
っていて良好といえます。公債費

負担比率が、前年を上回ったのは  
減税補てん償一括償還による一時  
的なものです。

財政力の強弱を示す目安となる  
財政力指数は、前年度を上回って  
おり、全国平均と比べても依然と  
して高い水準です。

収入に対して人件費や扶助費な  
ど毎年必ず出ていくお金がどのく  
らいの割合になっているかを示す  
値です。通常、80%を超える場合  
には、財政が弾力性を失いつつあ  
ると考えられています。

公債費負担比率  
一般財源総額の内、公債費に使  
われた一般財源の割合です。この  
比率が高いほど借入金返済のため  
の経費が多いことを表しています。

財政力指数  
地方公共団体の財政力を示す指  
標で、この数値が大きいほど財政  
力が強いと見ることができ、「1」  
以上の団体は、きわめて財政力の  
強い団体と考えられ、普通交付税  
の不交付団体となっています。

来年度からは新「成田市」として

区分 年度	経常収支比率				公債費負担比率				財政力指数			
	本市	増減	全国平均	県内平均	本市	増減	全国平均	県内平均	本市	増減	全国平均	県内平均
16	78.3	4.0			11.0	1.5			1.635	0.045		
15	74.3	0.3	87.5	88.0	9.5	0.3	15.5	13.2	1.590	0.063	0.65	0.874
14	74.0	3.0	87.7	87.7	9.8	0.2	15.2	13.1	1.527	0.058	0.65	0.920

- ・平成16年度の全国・県内平均については、現在集計中のため空欄となっています。
- ・全国平均は、平成14年度が596市の平均、15年度が602市の平均で、総務省発行の「地方財政白書」から抜粋。
- ・県内平均は市平均で、千葉県発行の「市町村財政の状況」、「市町村資料集」から抜粋。

## 決算審査意見書要約

成田市監査委員  
野中憲男  
岩澤良男

平成16年度成田市一般会計・特別会  
計・水道事業会計の決算と基金運用状況  
について、地方自治法その他関係法令の  
規定に基づき審査した結果、決算書など  
の係数に誤りがなく、予算ならびに運用  
はその目的に沿っておおむね適正に執行  
されていると認められました。

### 一般会計・特別会計・基金

市政の重点目標にかかる予算の執行状  
況は、空港関係では、空港周辺地域の振  
興を図る観点から三里塚コミュニティセ  
ンターが建設されました。

駅前整備では、JR成田駅と京成成田  
駅を結ぶ暫定仮設歩道および京成駅前が  
整備されました。

福祉面では、「スポーツ健康都市宣言」  
を行い、次代を担う子どもたちが健やか  
に育成される環境を整備するため、次世  
代育成支援対策推進法に基づく「行動計  
画」が策定されました。

教育面では、英語教育における実践的  
コミュニケーション能力の育成事業が更  
に拡充されました。

防犯・災害対策面では、新たに生活安  
全部を設置し、市、警察、地域が一体と  
なった防犯活動を実施し、地域ぐるみの  
防犯体制の確立が進められました。

今後の財政運営については、国の三位  
一体の改革が進む中、地方税収は依然伸  
び悩んでおり、財源の確保には引き続き  
厳しい状況が続くと思われま。

一方、都市基盤の整備、少子高齢化対  
策、環境問題への対応、教育改革への取  
り組みなど、今後も多額の財政需要が見  
込まれます。

これからも、市税をはじめとする自主  
財源の確保に努め、行財政の合理化、事

務事業の見直しなど時代の変化に的確に  
対応できる体制づくりを推進し、効率的  
な行財政運営を行うとともに、財源の重  
点的、効果的な配分により市民福祉の向  
上とさらなる市政の発展に努力されるよ  
う要望します。

基金については、特定目的基金14基金  
定額運用基金6基金を運用しています。  
基金運用状況調書の係数は正確でありお  
おむね適正に運用されていると認められ  
ました。

今後の基金運用について、低金利時代  
を反映し、さらにはペイオフの実施等厳  
しい状況にありますが、基金の目的に応  
じ確実に効率的な運用を要望します。

### 水道事業会計

業務実績の前年比較では、給水戸数は  
593戸の増加、給水人口は1,423  
人の増加となっています。有収水量は7  
5,984m<sup>3</sup>増加していますが、有収  
率は0.9ポイント低下しています。

建設改良事業では、計画的に配水管敷  
設工事、老朽管敷設替工事などが実施さ  
れ、生活用水の安定供給に対する施設整  
備の充実が図られています。

経営成績では、2億6,352万円余  
りの純利益となっています。  
今後も、計画的に老朽管の敷設替えな  
どの施設整備、消費需要の動向に注視し  
た効率的投資が推進されるものと思いま  
すが、将来にわたる財政負担見通しを踏  
まえ、公営企業の経済性を発揮し、安全  
で良質な生活用水の安定供給に引き続き  
努力を望みます。

くわしくは監査委員事務局 ☎20  
572(入)。

# バランスシートが示す 市の資産と負債

## バランスシートから 分かること

本市のバランスシートは、一般会計すべての特別会計および水道事業会計を含めて作成していますので、市の全体像を知ることができます。

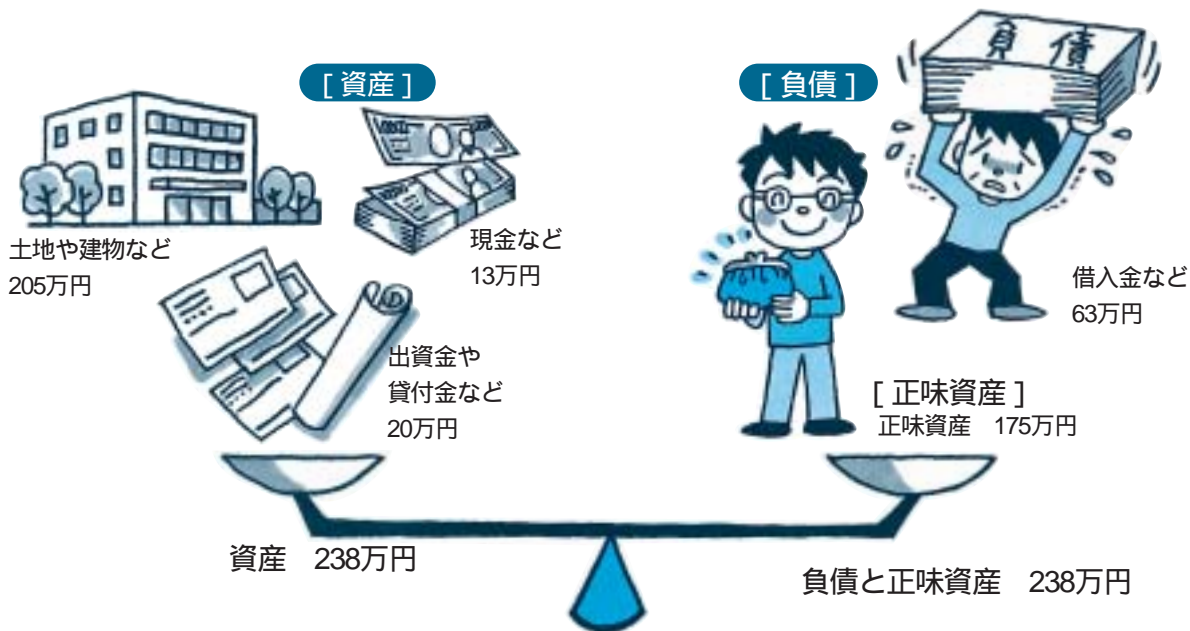
資産は、市が保有する財産の内容を表しています。道路、公園、小・中学校などの公共施設や基金などで、将来にわたり行政サービスを提供するための資源であるといえます。

負債は、将来にわたって支払いや返済の必要があるものです。市民が長期にわたって使用する施設を整備するための財源として、市債(国などからの借入金)などを利用していきます。これは、施設を使用する将来の市民にも、その費用の一部を負担していただくものです。

正味資産は、資産から負債を差し引いたもので、将来に負担を残さない資金です。市税や国・県からの補助金などで賄ったものです。

バランスシートを見ると、資産に対して正味資産の割合が高く(73.5%)、本市が健全な財政運営を行ってきたことが分かります。このバランスシートは、国の基準により作成されています。

市民一人当たりのバランスシート (人口98,708人)



## 成田市全体のバランスシート

(平成17年3月31日現在、単位：百万円)

【資産】		【負債】	
1. 固定資産	202,182	1. 固定負債	58,623
総務費(市庁舎、防災施設など)	10,882	地方債	50,280
民生費(保健福祉館、保育園など)	5,366	退職給与引当金	8,104
衛生費(ごみ処理施設、急病診療所など)	12,513	その他引当金等	239
労働費(勤労会館など)	92		
農林水産業費(農道、排水路など)	4,447	2. 流動負債	3,360
商工費(東和田駐車場、公衆トイレなど)	997	翌年度に支払う市債など	
土木費(道路橋りょう、公園、河川など)	66,989		
消防費(消防署、消防車など)	2,593	<b>負債合計</b>	<b>61,983</b>
教育費(学校、図書館、公民館など)	54,905		
卸売市場(水産棟、青果棟など)	2,071	<b>[正味資産]</b>	
下水道(下水管、ポンプ施設など)	25,352	国からの補助金	22,000
水道(配水管、配水場など)	15,952	県からの補助金	2,612
その他	23	市税などの一般財源	148,457
2. 投資など(出資金、貸付金など)	19,980	<b>正味資産合計</b>	<b>173,069</b>
3. 流動資産(現金、預金など)	12,890		
4. 繰延資産	0	<b>負債と正味資産の合計</b>	<b>235,052</b>
<b>資産の合計</b>	<b>235,052</b>		